

## Two types of progressive aspect expressed by “zai (在)” in Mandarin Chinese

Aoki moe

### Abstract

This paper explores the meaning of “zai (在)” which is regarded as a word expressing a progressive aspect in Mandarin Chinese. The progressive aspects of “zai” are composed of two different parts of speech. For example,

(a) Wo de shouji zai xiang.

‘My mobile phone PRG ringing.’—“My mobile phone is ringing.”

(b) Wo zuijin zai jianfei.

‘I recently PRG take off weight.’—“Recently I’m going on a diet.”

In (a), ‘zai’ is regarded as ‘progressive of the present scene’. In (b), ‘zai’ is regarded as ‘progressive of the scenes in series’.

This paper uses propositional logic and predicate logic to analyze the ‘zai’ sentences.

Keywords: an adverb “zai” progressive aspect, progressive of the present scene, progressive of the scenes in series, propositional logic, predicate logic



# 時態副詞“在”が表す二つの進行の論理意味分析

青木 萌

要旨 本稿は青木（2013）の見解を基に副詞の“在”を二つのタイプに区分して考察を行った。要点は以下の四つである。

第一に、副詞“在”が表す〔進行〕の意味は、厳密に〔現場進行〕と〔非現場進行〕という二つのタイプに区分できることである。

第二に、〔現場進行〕は発話時間においてのみ出来事が〔進行〕し、〔非現場進行〕は発話時間に制限されない〔進行〕である。

第三として、〔現場進行〕の出来事地点は一か所であり、〔非現場進行〕の出来事地点は複数に及ぶことである。

第四としては、〔現場進行〕は出来事の多発を証明する成分が生起せず、〔非現場進行〕は出来事の多発を証明する成分が生起することである。

また上記に加えて、本稿では命題論理（propositional logic）と述語論理（predicate logic）による解析を行い、副詞の“在”は「～が、～において、～という様態にある」という文型意味を構成することを証明する。

キーワード 時態副詞“在”、現場進行、非現場進行、命題論理、述語論理

## 0. はじめに

青木（2013）は副詞“在”を〔現場進行〕と〔非現場進行〕の二タイプに分けて考察を行った。本稿では新たな用例を用いて〔現在進行〕の“在”と〔非現場進行〕の“在”について詳述する。

また本稿で分析する副詞“在”はいずれも「～が、～において、～という様態にある」という文型意味を構成しているということを提示し、命題論理と述語論理による解析を行う。まず第1章では〔現場進行〕を表す“在”について論じる。

## 1. 〔現場進行〕を表す“在”

本章では〔現場進行〕を表すと見なしえる“在”的例を六つあげて解析を行う<sup>1)</sup>。この〔現場進行〕とは、発話時間において出来事が特定の場所において存在している、ということである。なお用例の日本語訳は全て筆者が行ったものである。まず（1）の例を見られたい。

（1）我的手机在响，手机在楼上包里呢。（テレビドラマ《温柔的背叛》第17話）

（俺の携帯が鳴っている。携帯は二階の鞄の中だ。）

この文の“我的手机在响”における“在”は〔現場進行〕の意を表わすと考えられる。まずこの用例がいかなる場面において発話されたのかを簡潔に述べることにしよう。（1）はドラマ《温柔的背叛》の第17話から引用した文である。このシーンは、ある晩、豪邸に住む主人と妻がリビングで寛いでいると、突如携帯電話が鳴りだす。すると主人は、自分の携帯が二階で鳴っているのに気付き、“我的手机在响，手机在楼上

包里呢”と発話して急いで二階へと向かう。以上が（1）における場面の展開である。

そこで注目されたいのは、“我的手机在响”の後に生起する“手机在楼上包里呢”である。これによって、“我的手机响”は“楼上包里”において生じていると理解できる。つまり、発話者が携帯電話の着信音を聞くことによって、“我的手机响”という出来事が〔進行〕していることを知覚したのである。故に、ここでの“在”は〔現場進行〕であると見なしえる。これはドラマ《温柔的背叛》を見ると“我的手机响”という出来事の臨場性をより鮮明に感じとることができる。

一つ確認しておきたいことは、“我的手机在响”の動詞“响”は〔持続〕の意味特徴を有し、かつ“我的手机在响”には“响”的〔持続〕を〔終息〕させる成分が生起していないということである。従って、“我的手机在响”における動詞“响”的〔持続〕の意味特徴が〔進行〕の時態表現を導いているということが分かる<sup>2)</sup>。

また、この“我的手机在响”において生起する“在”は場所を示す目的語を伴っていないが、既述の如く、“我的手机在响”的後節では“手机在楼上包里”と言っているので、“我的手机在响”的出来事地点は“楼上包里”であると見なしえる。故に、“我的手机在响”に含まれている意味は、「私の携帯が、二階の鞄の中において、私の携帯が鳴っている」となる。では以上の考察を踏まえて、“我的手机在响”に含まれている意味を命題論理と述語論理によって表記してみることにしよう<sup>3)</sup>。

(1a) 鳴ル ~ガ 存在スル ~ガ ~ニ

在' [我的手机, 楼上包里, 响' (我的手机) & 在' 响' (我的手机), 楼上包里']

アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

この論理式は“响’(我的手机)”が「俺の携帯が鳴る」という意味を表し、“在’{响’(我的手机), 楼上包里}”が「俺の携帯が鳴る」という出

来事が、二階の鞄の中に存在する」という意味を表し、“在’ [我, 楼上包里, 响’ (我的手机) & 在’ |响’ (我的手机), 楼上包里}]”が「俺の携帯が、二階の鞄の中において、俺の携帯が鳴りかつその出来事が二階の鞄の中に存在するという様態にある」という意を表している<sup>4)</sup>。

次は(2)の“我打车”という文における“在”が〔現場進行〕であることを証明する。

(2) 我在打车！ (テレビドラマ《张小五的春天》第2話)

(私はタクシーを拾っているのよ！)

この(2)の引用先であるテレビドラマ《张小五的春天》によると、この場面は酒に酔った発話者が一人でタクシーを拾っている所である。よって、“我在打车”における“在”は〔現場進行〕を表すと考えられる。この文における動詞の“打”は論理的な観点からいうと、〔終息〕することなく〔持続〕する特徴を有している。そして“我在打车”における“车”は具体的な数量情報が含まれておらず、“打”の動作量を〔終息〕させることができないので、“打”が表わす〔持続〕の意味特徴が〔進行〕の概念を可能にさせていると考えられる。

また、ドラマ《张小五的春天》を確認すると、この(2)の場面における“我打车”という行為は、発話者が存在している一つの場所に限られて行われているので、“在”的目的語は“这儿”であると考えられる。従って、“我在打车”が表す命題内容は「私が、ここにおいて、私がタクシーを拾っている」と解釈すると、この文の論理式は、

(2a) 拾ウ ~ガ ~ヲ 存在スル ~ガ ~ニ

在’ [我, 这儿, 打’ (我, 车) & 在’ |打’ (我, 车), 这儿}]

アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

となる。この論理式は“打’ (我, 车)”が「私がタクシーを拾う」という意味を表し、“在’ |打’ (我, 车)、这儿}”が「私がタクシーを拾うと

いう出来事が、ここに存在する」という意味を表し、“在”[我, 这儿, 打] (我, 车) & 在’ {打} (我, 车), 这儿]”が「私が、ここにおいて、私がタクシーを拾いかつその出来事がここに存在するという様態にある」という意を表している。

今度は (3) の “我知道你在听着” (僕は君が話を聞き続けていることを知っている) における “在” が [現場進行] であることを証明しよう。

(3) 我知道你在听着, 而且都听进去了。好妹妹, 你连死都不怕, 难道还怕挺起胸膛活着? (テレビドラマ《京华烟云》第32話)

ここでは “你在听着” に焦点を当てて論じる。この “你在听着” という出来事は発話地点の一か所だけで [進行] していると考える。つまり、“你在听着” の “在” は [現場進行] である。これは用例の引用先であるドラマ《京华烟云》を視聴すると、(3) の場面において “你在听着” が一か所で実際に起こっていることを確かに把握することができる。従って “你听着” の出来事地点は “这儿” 「ここ」 であると理解し、“你在听着” に含まれる命題内容は「あなたが、ここにおいて、あなたが僕の話を聞いている」と解しえる。

また、“听” という動詞は [持続] の意味特徴を有し、かつこの後方には [動作の結果の持続] の意を表す時態助詞の “着” が生起しているため、“听” の [持続性] が確実に保証されている。よって、[進行] の概念が生じえたと見なしえる。では、以上の解析を踏まえて “你在听着” を論理式で表現することにしよう。(3a) を見られたい。

(3a) **スル** ~ガ ~ヲ アル ~ガ ~トイウ様態ニ  
 在'《你, 这儿, 听' {你, 说' (我, 话)} & 有' [听' {你, 说' (我, 话)}], 着]  
 聞ク ~ガ ~ヲ  
 アル ~ガ ~ニオイテ  
 存在スル ~ガ ~ニ  
 & 在'【有' [听' {你, 说' (我, 话)}], 着], 这儿】】  
 ~トイウ様態ニ

この論理式は“说’(我, 话)”が「僕が話をする」という意味を表し、“听’{你, 说’(我, 话)}”が「君が僕の話を聞く」という意味を表し、“有’[听’{你, 说’(我, 话)}, 着]”が「君が僕の話を聞くが、[持続]という様態にある」という意味を表し、“在’【有’[听’{你, 说’(我, 话)}}, 着], 这儿]”が「君が僕の話を聞き続けるという出来事が、ここに存在する」という意味を表し、“在’《你, 这儿, 听’{你, 说’(我, 话)} & 有’[听’{你, 说’(我, 话)}}, 着] & 在’【有’[听’{你, 说’(我, 话)}}, 着], 这儿】》”が「君が、ここにおいて、君が僕の話を聞き続けかつその出来事がここに存在するという様態にある」という意を表している。次の考察は(4)の“既然你们在工作”的一節を中心に進めていくことにしたい。

(4) 既然你们在工作, 我就不打扰了, 你们继续吧。

(テレビドラマ《夫妻那些事》第13話)

(4) における発話者の“林君”は近々ずっと不安を抱えている。それは旦那“唐鵬”と美しき部下“苏珊”との関係である。“林君”は四十歳を間際にしても妊娠することができなかつた。結婚当初、多忙な仕事と子供の養育費などを懸念し“丁克”「ディンクス」を堅持したためであると言える。従つて、近頃“林君”が抱く旦那への不信感は一層積もるばかりであった。そんなある日、“唐鵬”は残業で帰宅せず、“林君”は

強い焦燥の念に駆られる。そこでひどく気をもんだ“林君”は、早朝、友人の“安娜”を連れて旦那に差し入れを届けるという口実を以って会社へと足を運んだのである。以上のような背景から(4)のような会話が展開されることになる。考察の対象となるのは“你们在工作”（あなたたちが仕事をしている）の部分である。この文には〔現場進行〕の意味を表わす“在”が生起している。これはドラマ《夫妻那些事》における会話のやりとりを見ると、この場面において、“工作”が行われていることがはっきりと看取できる。

次にこの文の動詞“工作”の意味特徴について考えると、この“你们在工作”には“工作”という持続動詞を〔終息〕させる成分が生起していないので、“工作”に内在する無限の〔持続〕によって〔進行〕の表現が保証されていると考えられる。

なお、“你们在工作”における目的語について気になるところだが、これはドラマ《夫妻那些事》によると、“工作”は発話者の目の前において生じている〔現場進行〕なので、“工作”の出来事地点は“这儿”であると推測することができる。よって、論理的に“你们在工作”は「あなたたちが、ここにおいて、あなたたちが仕事をしている」という命題内容であると見なしうる。では“你们在工作”を論理式によって示してみることにしたい。それは(4a)のような式となる。

(4a)	仕事ヲスル	～ガ	存在スル	～ガ	～ニ
	在’〔你们, 这儿, 工作’(你们) & 在’{工作’(你们), 这儿}]				
	アル	～ガ	～ニオイテ	～トイウ様態ニ	

この論理式は“工作’(你们)”が「あなたたちが仕事をする」という意味を表し、“在’{工作’(你们), 这儿}”が「あなたたちが仕事をする」という出来事が、ここに存在する」という意味を表し、“在’〔你们, 这儿, 工作’(你们) & 在’{工作’(你们), 这儿}]”が「あなたたちが、こ

こにおいて、あなたたちが仕事をしかつその出来事がここに存在するという様態にある」という意を表している<sup>5)</sup>。

今度は(5)の“我在跟二哥说话”(わしは次男と話をしている)における“在”に着目しよう。

(5) 我在跟二哥说话，哪个要你来插嘴！（テレビドラマ《家》第10話）

この文では“我在跟二哥说话”が一つの現場において〔進行〕している出来事であると見なす。というのは、(5) の引用先であるドラマ『家』を確認すると、確かにその時点で“我跟二哥说话”が行われているためである。従って、“我跟二哥说话”が生じている場所は一か所のみに限られているので、“我在跟二哥说话”的意味は「私が、ここにおいて、私が二男と話をしている」と解しえる。

ひとつ忘れてはならないことは、“我在跟二哥说话”における動詞の“说”は〔持続〕の意味特徴を維持しているということである。つまり、“说”が意味上際限なく〔持続〕し続けることによって、“在”が示す〔進行〕の表現が可能となるのである。では“我在跟二哥说话”に含まれている意味を論理式によって表現しよう。

(5a) 在'【我, 这儿, 跟' {我, 二哥, 说' (我, 话) & 说' (二哥, 话)} &   
 スル ～ガ ～ヲ スル ～ガ ～ヲ  
 スル ～ガ ～ト ～トイウコトヲ  
 アル ～ガ ～ニオイテ  
 アル ～ガ ～ニオイテ  
 在' [跟' {我, 二哥, 说' (我, 话) & 说' (二哥, 话)}, 这儿】  
 ～トイウ様龍ニ

この論理式は“说”(我, 话)”が「私が話をする」という意味を示し、“说”(二哥, 话)”が「二男が話をする」という意味を示し、

“跟’ {我, 二哥, 说’ (我, 话) & 说’ (二哥, 话)}”が「私が、二男と、私が話をしつつ二男が話をするということをする」という意味を示し、“在’ 【我, 这儿, 跟’ {我, 二哥, 说’ (我, 话) & 说’ (二哥, 话)} & 在’ [跟’ {我, 二哥, 说’ (我, 话) & 说’ (二哥, 话)}, 这儿]】”が「私が、ここにおいて、私と二男が話をしつつその出来事がここに存在するという様態にある」という意を示している。

次の(6)は“和几位杭州来的茶商在说话”における“在”を中心に考えたい。ここでの“在”も〔現場進行〕の意を表している。

(6) A: 书房里木兰和莫愁还在不在?

B: 都在。

A: 太太呢?

B: 在客厅, 和几位杭州来的茶商在说话。(テレビドラマ《京华烟云》第26集)

(A: 「書斎には木兰と莫愁がまだいるか?」)

(B: 「います。」)

(A: 「家内は?」)

(B: 「客間におりまして、数名の杭州から来た茶商と話をしています。」)

この(6)は発話者Aの主人と、発話者Bの召し使いとの間で交わされた会話である。(6)の例の引用先であるテレビドラマ《京华烟云》に依ると、主人は大好きな甲骨文字を購入するために販売人を家へ招いたが、高額の取引になることから家族の人々に知られるのを拒んでいたようである。故に(6)のような会話が行われるに至ったのである。

問題となる箇所は“在客厅, 和几位杭州来的茶商在说话”である。この文は〔現場進行〕であると解すべきである。即ち、(6)の場面において発話者Aと発話者Bが会話をしているときに“和几位杭州来的茶

商说话”が“客厅”において行われているのである。この(6)におけるやり取りは、実際に《京华烟云》を確認すると、発話者Bが“和几位杭州来的茶商说话”という出来事が行われている“客厅”へと指を向けているので、確かに“和几位杭州来的茶商在说话”的現場性を感じることができる。従って、“和几位杭州来的茶商在说话”的前には既に“客厅”が生起しているが故、“和几位杭州来的茶商在说话”では“客厅”が既知の情報として省略されたと考えられる。しかし、意味上は“和几位杭州来的茶商在说话”における“在说话”は「奥様が、あそこで、奥様が話をしている」という意であると解すべきである。つまり、この“在说话”における“在”は、意味上、遠方を指示する“那兒”という目的語を伴うと見なすのである。

また、ここでの“说”という動詞は、“话”が後続して「話しをする」という意味を表わすが、“说话”は具体的な動作量が定まっていない。即ち、“和几位杭州来的茶商在说话”の文には“说”が有する〔持続〕を〔終息〕させる成分が字面上において存在していない。よって、“说” 자체に備わる無限の〔持続〕によって〔進行〕の意を表す“在”的生起条件が充足されたと考えることができる。では、最後に“在说话”的部分に着眼した論理式を造ることにする。

(6a) **スル** ～**ガ** ～**ヲ** **存在スル** ～**ガ** ～**ニ**  
在' [太太, 那儿, 说' (太太, 话) & 在' {说' (太太, 话), 那儿}]  
アル ～**ガ** ～**ニ**オイテ ～ト**イウ**様體ニ

この論理式は“说”(太太, 话)”が「奥様が話をする」という意味を表し、“在”[说”(太太, 话), 那儿]”が「奥様が話をするという出来事が、あそこに存在する」という意味を表し、“在”[我, 那儿, 说”(太太, 话) & 在”[说”(太太, 话), 那儿]]”が「奥様が、あそこにおいて、奥様が話をしきつその出来事があそこに存在するという様態にある」とい

う意を表している。

### 1.1. [現場進行] のまとめ

以上 (1) から (6) までの用例を全て考察した。そこで本章の終わりに改めて [現場進行] の特徴を確認しておくことにしよう。それは次の二点である。

一つは、[現場進行] は発話時間において生じている [進行] のことを指すということである。いま一つは、[現場進行] は発話時間において生じているので、その出来事地点は発話者が把握した特定の場所において行われているということである。

## 2. [非現場進行] を表す “在”

本章では [非現場進行] を表す “在” について詳述する。[非現場進行] とは発話時間に影響されない [進行] のことを指す。故に、比較的長期に渡たって出来事が多発していることを表現することができる。用例は全部で七つある。まず (7) の “我最近在减肥” の箇所における “在” が [非現場進行] であることを証明しよう。

(7) A: 好香哦！

B: 要不要来点，我老姐做的。

A: 不了，我最近在减肥。（テレビドラマ《爱情公寓 2》第 14 話）

(A: いいにおい！)

(B: 「ちょっと食べてみない？ 姉ちゃんがつくったんだよ！」)

(A: 「止めとくよ、最近ダイエットしているんだ。」)

ここでは “在” が生起する “我最近在减肥” の一文について集中的に

論じる。“我最近在减肥”において表現される〔進行〕の意は〔非現場進行〕である。その理由は二つある、一つは、“最近”が複数の出来事の存在を可能にさせているためである。というのは、“最近”は《现代汉语词典・第6版》(2012: 1741)によると、「發話の前後の遠くない日を指す。」といった記述がなされているためである。つまり“最近”的生起により、一定の時間幅が提供されることになるので、“我减肥”という出来事が複数存在する可能性が与えられることになるのである。

“我最近在减肥”的“在”が〔非現場進行〕として解しえる第二の理由は、この文において生起する“减肥”という行為が〔持続〕の意味特徴を堅持しているからである。従って、(7)の場面では、発話者Aは発話者Bが作った食べ物を“我最近在减肥”といって拒むが、この表現は実際にその地点で“减肥”という行為が行われていることに重点をおいたものではなく、“最近”的範囲において生じた幾つもの“减肥”を含めて表現したのである。つまり、発話者は、(7)の発話時において、概念上いくつもの“我减肥”をすべて様態的に捉えて一度に表現したと解しうる。

また、“我最近在减肥”では、“在”的後ろの目的語は省略されたと見なす。その原因として考えられるのは、“减肥”は様々な場所で行われるが故、特定の出来事地点をわざわざ指示する必要がないのである。そこで“在”的目的語は意味上、不特定の場所を指示する“那儿”があると考えることになる<sup>6)</sup>。従って、“我最近在减肥”的“在”は「(最近という範囲において)僕が、ある場所において、僕がダイエットをしている」という意味枠を構成すると解しえる。それでは“我最近在减肥”を以下の如く論理表記することにしたい。

(7a)

スル ～ガ ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ

有'【在' [我, 那儿, 減' (我, 肥) &amp; 在' {減' (我, 肥), 那儿}], 最近】

アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

アル ～ガ ～ガ ～トイウ範囲ニ

この論理式は“減' (我, 肥)”が「私がダイエットをする」という意味を表し、“在' {減' (我, 肥), 那儿}”が「私がダイエットをするという出来事が、ある場所に存在する」という意味を表し、“在' [我, 那儿, 減' (我, 肥) & 在' {減' (我, 肥), 那儿}]”が「私が、ある場所において、私がダイエットをしきつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表し、“有'【在' [我, 那儿, 減' (我, 肥) & 在' {減' (我, 肥), 那儿}], 最近】”が「私がダイエットをしているが、最近という範囲にある」という意を表している。

次の(8)では“我现在在念书”における“在”について考えてみよう。ここでの“在”も〔非現場進行〕の意を表している。

(8) A: 小梅, 我现在在念书, 你让家里边知道你怀孕了……

B: 没事, 我懂, 结婚典礼我们可以先不办嘛, 但是我打听过了, 他们说研究生是可以结婚, 可以生孩子的, 这是国家法律规定。咱俩什么时候……去领证? (テレビドラマ《夫妻那些事》第17話)

(A: 「小梅、俺はいま学生をしているのだから、家の方に君が妊娠したことを知らせてしまったら……」)

(B: 「平気よ、わたし分かっているわ、結婚式はとりあえず無しよ。でも、聞いたところ、院生でも結婚できるし、子供をつくることもできるの。これは国の法律で定められていることよ。いつ結婚証明書を取りに行こうか?」)

この例は二人の若者が対話する場面である。二人は同郷であり、発話

者 A の “小梅” は都会に出てきてアルバイトをしている。発話者 B は大学院生である。二人は恋人であり、ついには懷妊をするまでに到ってしまう。が、発話者 B は学内で他の女子生徒とも交際を始めてしまう。しかもその女子生徒は彼の指導教員の娘であった。そのため、彼の “小梅” に対する気持ちは次第に薄れていくことになる。そんなある日、“小梅” の妊娠を知った発話者 B は “現在在念書” と言い出して懷妊の話題から逃れようとするのであった。

さて、(8) の一行目にある “我現在在念書” に注目されたい。この文における “在” は [非現場進行] であると見なすべきである。それを根拠づけるものとして、第一に、“現在” が重要な成分として挙げられる。“現在” は《現代汉语词典・第 6 版》(2012: 1416) によると、「この時、発話の時を指す。時に発話前後の一定の時間を含む。」といった意を表す。従って、(8) で生起する “現在” が表す意は「発話の時」ではなく、「発話前後の一定の時間」の意を表すと見なしえることから、“念書” という出来事の多発を想像することができる。

次に、この文が [非現場進行] であることを表す最も決定的な根拠は、(8) において、“念書” という行為を具体的に行っていないことである。これは実際にドラマ《夫妻那些事》を確認すると容易に看取できる。また、論理的にこの “我念書” を [非現場進行] の意として捉えるための前提として重要なことは、“念書” が無限の [持続] という意味特徴を有し、同時に、この “念書” を [終息] させる成分が “现在我在念书” において生起していないことである。

なお、“现在我在念书” は “在” の後方に目的語が伴っていないが、この “念书” は一定の期間において常にその学生という身分が保持されていることを意味するので、“我念书” がどこで生じているかについては特別明示する必要がないといえる。従って、“我現在在念書” の “在” を

中心にして考えると、この文が表す命題内容は「(現在という範囲において) 僕が、ある場所において、僕が学生をしている」となる。つまり、“那儿”を特定の場所を指定しない目的語としてあてがったのである。では論理式を運用して“我现在在念书”に含まれている意味をすべて表記することにしよう。

この論理式は“念’(我, 书)”が「僕が学生をする」という意味を表し、“在’念’(我, 书), 那儿”が「僕が学生をするという出来事が、ある場所に存在する」という意味を表し、“在’[我, 那儿, 念’(我, 书) & 在’念’(我, 书), 那儿]”が「僕が、ある場所において、僕が学生をしきつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表し、“有”【在’[我, 那儿, 念’(我, 书) & 在’念’(我, 书), 那儿], 现在】”が「僕が学生をしているが、現在という範囲にある」という意を表している。

次は(9)の“她现在跟欧阳在交往”における“在”に焦点を向けることにする。ここでの“在”も「非現場進行」の意を表している。

(9) A: 那富二代都跟你说什么了呀?

B: 她现在跟欧阳在交往，到时候，会给我下帖子。

A: 欺人太甚了吧她！（テレビドラマ《再婚进行时》第7話）

(A: 「あの成り金娘はあなたに何言ったの？」)

(B: 「彼女は今欧阳と付き合っていて、時が来たら、結婚の招待所をくれるって。」)

(A:「侮辱するにもほどがあるわ！」)

この用例の中の“她现在跟欧阳在交往”における“在”は〔非現場進行〕である。その理由は第一に、(9)の用例の引用先である《再婚进行时》によると、この場面は“她现在跟欧阳在交往”という行為が実際に行われていないためである。というのは、この(9)の場面は、発話者Aと発話者Bが喫茶店にて腰をおろし、先ほど発話者Bが“富二代”に出会った時のことを話題にして会話をしているシーンであるからである。

“她现在跟欧阳在交往”が〔非現場進行〕となる理由の第二としては、“他现在跟欧阳在交往”における“现在”が“她跟欧阳在交往”という出来事の複数の存在を保証しているためである。ここでの“现在”は(8)で既述したように、発話時の一点を指示するのではなく、発話の前後の時間を含んでいるので、出来事の複数の存在を許容することができる。従って、“她现在跟欧阳在交往”的〔進行〕は厳密に定めると〔非現場進行〕と見なしうる。

また、この文の持続動詞の“交往”にも留意されたい。この“交往”は“她现在跟欧阳在交往”において「交際をする」という意を表し、〔持続〕の意味特徴を保持している。従って、“交往”的〔持続性〕が〔非現場進行〕の成立に貢献していると考えることができる。

ここで一つ指摘しておきたいことは、“她现在跟欧阳在交往”における“交往”という動詞の出来事地点は明示する必要がないということである。つまり、ここでの“交往”とは、動態的な行為ではなく、二人の人間が友人より親密に、より信頼しえる関係として認め合う心情を保持する営みを指す。従って、“交往”が生じる一つ一つの場所には関心がおかなくななり、“在”が導くべき出来事の場所、換言すると、“在”的目的語が省略されたと考えられる。故に、“她现在跟欧阳在交往”が示す文全体の意味は「(現在という範囲において) 彼女が、ある場所にお

いて、彼女が欧陽と交際している」と解しえる。要するに、“在”的目的語には、意味上、特定の出来事地点を指示しない“那儿”が生起すると見なすのである。

では“在”と“現在”的意味関係に注目して論理表記をしよう。

(9a) 交際スル ～ガ 交際スル ～ガ

有'【在' [她, 那儿, 交往' (她) & 交往' (欧阳) &

アル ～ガ ～ニオイテ

アル

～ガ

存在スル

在' {交往' (她) & 交往' (欧阳), 那儿}, 现在】

～トイウ様態ニ

～トイウ範囲ニ

この論理式は“交往’ (她)”が「彼女が交際する」という意味を表し、“交往’ (欧阳)”が「欧陽が交際する」という意味を表し、“在’ {交往’ (她) & 交往’ (欧阳), 那儿}”が「彼女が交際しかつ欧陽が交際する」という出来事がある場所に存在する」という意味を表し、“在’ [她, 那儿, 交往’ (她) & 交往’ (欧阳) & 在’ {交往’ (她) & 交往’ (欧阳), 那儿}]”が「彼女が、ある場所において、彼女が交際しかつ欧陽が交際しかつそれらの出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表わし、“有'【在' [她, 那儿, 交往' (她) & 交往' (欧阳) & 在’ {交往’ (她) & 交往’ (欧阳), 那儿}], 现在】”が「彼女が欧陽と交際しているが、現在という範囲にある」という意を表わしている。

次は(10)の“我们那口子现在每天在吃素食啊”(うちの家内は毎日菜食をしています)における“在”を中心に考えてみよう。

(10) 我们那口子现在每天在吃素食啊。(テレビドラマ《岁月》第9話)

この“我们那口子现在每天在吃素食”において生起した“在”は〔非現場進行〕であると解釈する。その根拠は二つ存在する。

一つは、この“我们那口子现在每天在吃素食”という出来事が発話時点において起こっていないということである。それはドラマ《岁月》の場面を見るとはっきりと看取できる。

いま一つの根拠としては、“现在”と“每天”がもたらす意味である。つまり、“现在”という幅のある時間の中で、“吃素食”という出来事が毎日存在しえるのである。また、“我们那口子现在每天在吃素食啊”における動詞の“吃”は〔持続〕の意味特徴を有し、かつこの“我们那口子现在每天在吃素食”には持続動詞の“吃”を〔終息〕させる成分が生起しないので、この持続動詞である“吃”が〔進行〕の概念を形成する土台となっていることが分かる。なお、“在”の後に目的語が見られないのは、上述の如く、“吃素食”という出来事が習慣的に幾度となく行われるので、一つ一つの出来事地点を明示させる必要がないからである。故に、“我们那口子现在每天在吃素食啊”が含む意味は、「(現在の範囲において毎日) 彼女が、ある場所において、彼女が菜食をとる」となる。よって以下のような論理式が書ける。

(10a)

トル～ガ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ

有'《有'【在'〔她, 那儿, 吃' (她, 素) & 在' 吃' (她, 素), 那儿〕, 每天】, 现在》

アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

アル ～ガ ～トイウ頻度ニ

アル ～ガ ～トイウ範囲ニ

この論理式は“吃’ (她, 素)”が「彼女が菜食をとる」という意味を表し、“在’ 吃’ (她, 素), 那儿”が「彼女が菜食をとる」という出来事が、ある場所に存在する」という意味を表し、“在’ [我, 那儿, 吃’ (她, 素) & 在’ 吃’ (她, 素), 那儿]”が「彼女が、ある場所において、彼

女が菜食をとりかつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表し、“有’【在’〔她, 那儿, 吃’(她, 素) & 在’|吃’(她, 素), 那儿|], 每天】”が「私が菜食をとっているが、毎日という頻度にある」という意味を表し、“有’《有’【在’〔她, 那儿, 吃’(她, 素) & 在’|吃’(她, 素), 那儿|], 每天】, 现在》”が「毎日彼女が菜食をとっているが、現在という範囲にある」という意を表している。

次は(11)の中の“一天到晚都在失恋”における“在”について論じる。

(11) 你, 你怎么可以这么损我啊! 你的意思是说, 我经常失恋, 一天到晚都在失恋, 失恋已经成为我的习惯, 我失恋很有经验, 而且我失恋失得驾轻就熟, 是不是? (テレビドラマ《夏家三千金》第2話)

(あなた、どうしてこんなにも私をいじめるの! 私はいつも失恋していて、朝から晩まで失恋していて、それが私の習慣になって、失恋の経験が豊富で、しかもベテランの領域にあるとでもいうのかしら?)

ここでは“在”が生起した“一天到晚都在失恋”的文に焦点をあてて論じる。この文における“在”は〔非現場進行〕であると判断しえる。そのポイントとなる成分は“一天到晚”である。これは「朝から晩まで」といった意を表わすので、失恋が何度も行われていることが推測できる。よって、この文は一つの場所において生じる〔進行〕ではなく、“最近”において“失恋”が幾つも存在している、といった様態を示すことに視点が置かれた表現となっている。また、この場面はドラマ《夏家三千金》によると実際に失恋している瞬間ではないことを確認しえる点からも“一天到晚都在失恋”を〔非現場進行〕と解釈するのが妥当であるといえる。

そして“一天到晚都在失恋”における“失恋”という動詞は「失恋をする」という意であり、論理的な観点からいうと、瞬間的な意味特徴を持つ動詞である。しかし、“失恋”が何度も発生することによって、[進行]の意味を形成しえると考える。つまり、概念上、複数の“失恋”という出来事が存在していると理解するのである。<sup>7)</sup>

更にこの文の“在”的目的語についても考えよう。“一天到晚都在失恋”では“在”に出来事の場所を示す成分が後続していない。これは“一天到晚”、“失恋已经成为我的习惯”的表現からも判然とするように、“一天到晚到晚都在失恋”における“失恋”は常に起こるべき習慣的な出来事であり、ある特定の出来事地点にはもはや関心がむけられないのである。しかし、“在”的目的語は、意味上やはり“那儿”があると判断し、「(朝から晩までという範囲において) 私が、ある場所において、私が失恋をしている」といった意味フレームを構築すると解釈する。では“一天到晚都在失恋”に含まれる意味を論理式で表してみよう。

(11a)

スル ～ガ ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ

有'【在' [我, 那儿, 失'] (我, 恋) &amp; 在' {失' (我, 恋), 那儿} ], 一天到晚】

アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

アル ～ガ ～トトイウ範囲ニ

この論理式は“失’(我, 恋)”が「私が失恋をする」という意味を表し、“在’{失’(我, 恋), 那儿}”が「私が失恋をするという出来事が、ある場所において存在する」という意味を表し、“在’[我, 那儿, 失’(我, 恋) & 在’{失’(我, 恋), 那儿}]”が「私が、ある場所において、私が失恋しかつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表している。そして“有’【在’[我, 那儿, 失’(我, 恋) & 在’{失’(我, 恋), 那儿}], 一天到晚】”が「私が失恋しているが、朝から晩までという範囲にある」という意を表している。

次は（12）の“我一直都在听你们的话对不对！”（俺はずっとあなたたちの言うことをきいてきただろう！）の箇所に焦点をおいて解析する。

（12）我一直都在听你们的话对不对！你们让我干什么我就干什么对不对！我都乖乖地按照你们要求活了整整三十年了，我现在就想发一回疯，我就想按照我自己的想法，自己的想法我好好活我后辈子！

（テレビドラマ《独生子女の婆婆妈妈》第23話）

この用例では、“我一直都在听你们的话”における“在”が〔非現場進行〕であることを論証したい。その根拠は以下の二点である。第一に、《独生子女の婆婆妈妈》によると、“我一直都在听你们的话”という出来事がそのシーンにおいて発生していないためである。第二に、“我一直都在听你们的话”には“一直”が生起しているので、“我听你们的话”という出来事が以前からこの（12）における発話時までの間に何度も行われていたと推論することができるからである<sup>8)</sup>。

次に“我一直都在听你们的话”における目的語について考えることにしたい。この文では“在”的後に場所を示す目的語が現れていない。というのは、上記で明瞭となったように、“我听你们的话”が何度も発生しているので、一つ一つの“我听你们的话”が何処で生じたのかについては注目しえないのである。従って、“我一直都在听你们的话”に含まれる意味は、「（ずっとという範囲において）私が、ある場所において、私があなたたちのいうことを聞いている」と解釈することができる。また“我一直都在听你们的话”的動詞である“听”は〔持続〕の意味特徴を保持しているため、〔進行〕の意の成立に大きく貢献していると見なしえる。では“我一直都在听你们的话”を論理表記しておこう。

(12a)

スル ～ガ ～ヲ

有' 《在' 【我, 那儿, 听' {我, 有' (你们, 话)} &amp;

キク ～ガ ～ヲ

アル ～ガ ～ニオイテ

～ガ

存在スル ～ガ ～ニ

在' [听' {我, 有' (你们, 话)} , 那儿]], 一直》

～トイウ様態ニ

～トイウ様態ニ

この論理式は、“有’ (你们, 话)”が「あなたたちが話をする」という意味を表し、“听’ {我, 有’ (你们, 话)}”が「俺があなたたちのいうことをきく」という意味を表し、“在’ [听’ {我, 有’ (你们, 话)} , 那儿]”が「俺があなたたちのいうことをきくという出来事が、ある場所に存在する」という意味を表し、“在’ 【我, 那儿, 听’ {我, 有’ (你们, 话)} & 在’ [听’ {我, 有’ (你们, 话)} , 那儿]]”が「俺が、ある場所において、俺があなたたちのいうことをききかつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表し、そして“有’ 《在’ 【我, 那儿, 听’ {我, 有’ (你们, 话)} & 在’ [听’ {我, 有’ (你们, 话)} , 那儿]], 一直》”が「俺があなたたちのいうことをきいているが、ずっとという様態にある」という意を表している。

次の (13) における“她六年都在骗我”では“六年”が〔非現場進行〕の概念を導くカギとなる。

(13) 我跟我的前女友谈了八年的恋爱，她六年都在骗我！（テレビドラマ《爱情公寓 3》第 19 話）

(俺は以前彼女と八年付き合っていたけど、そのうち六年も俺を騙していたんだ！)

ここでは“她六年都在骗我”について詳しく検討していくことにしたい。この一節では“六年”が生起していることによって、[非現場進行]の意が確定すると見なしえる。要するに、“她骗我”という出来事が六年間の間に幾度となく生じているのである。そしてこれに範囲副詞の“都”が加わると、その六年の間に幾つもの“她骗我”が存在していることが確実となる。従って、“她六年都在骗我”は、(13)の発話時間において、これまでに生じた“她骗我”を様態的に一纏めで表現した文であるということが分かる。

また、“在”に後続する目的語は[非現場進行]であるため、“她骗我”が特定の地点で行われているかを明瞭にさせることができない。というのも、数年間にも渡って“騙”を被り続けてきた発話者にとって、その出来事地点が毎回どこであったのかを記憶しているはずがないのである。故に、“在”の後方には目的語が存在していないが、意味上は「ある場所」、つまり“那儿”を当てがって解釈することになる。

なお、“她六年都在骗我”における“骗”という動詞は[終息]することなく、概念上、際限なくその[持続]を保持すると見なしえる。よって、この“骗”に内在する[持続]の意味特徴により、幾つもの“她骗我”という出来事の存在、即ち[進行]の時態を表現することが可能となる。以上の考察から、ここでの“在”は「～が、～において、～という様態にある」という文型意味を以って「(六年という範囲において)彼女が、ある場所において、彼女が俺を騙している」という命題内容を導き出すことができる。そこで上記の考察を念頭において以下論理表記を行う。(13a)を見られたい。

(13a) 騙ス ~ガ ~ヲ 存在スル ~ガ ~ニ  
 有'【在'〔她, 那儿, 骗' (她, 我) & 在' {骗' (她, 我), 那儿} ], 六年】

アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ  
 アル ~ガ ~ガ ~トイウ範囲ニ

この論理式は “骗' (她, 我)” が「彼女が私を騙す」という意味を表し、“在' {骗' (她, 我), 那儿}” が「彼女が私を騙すという出来事が、ある場所に存在する」という意味を表し、“在'〔她, 那儿, 骗' (她, 我) & 在' {骗' (她, 我), 那儿}〕” が「彼女が、ある場所において、彼女が私を騙しかつその出来事がある場所に存在するという様態にある」という意味を表し、“有'【在'〔她, 那儿, 骗' (她, 我) & 在' {骗' (她, 我), 那儿} ], 六年】” が「彼女が私を騙しているが、六年という範囲にある」という意を表している。

## 2.1. [非現場進行] のまとめ

以上副詞 “在” が [非現場進行] の意を示す例を全て論じた。最後に [非現場進行] の特徴を総括することにしたい。それは以下の三つである。

第一に、[非現場進行] は、発話時間に左右されず、複数の出来事を様態的に全て抽出する点に表現の重点が置かれた [進行] であるということである。

第二に、[非現場進行] は、出来事地点が複数に及び、一つ一つの出来事地点には注目されないということである。

そして第三に、[非現場進行] は、複数の出来事を包括しえる “最近”、“現在”、“毎天” “一天到晚”、“一直”、“六年” といったような成分が生起する傾向にあるということである。

### 3. 結びにかえて

以上で論じた〔現場進行〕と〔非現場進行〕の特徴を以下のように図示する。同時に本稿で考察した例文も改めて列挙しておこう。

〔現場進行〕	〔非現場進行〕
(1) 我的手机 <u>在</u> 响 (2) 我在打车 (3) 我知道你 <u>在</u> 听着 (4) 既然你们 <u>在</u> 工作, 我就不打扰了 (5) 我在跟二哥说话 (6) 和几位杭州来的茶商 <u>在</u> 说话	(7) 我最近 <u>在</u> 减肥 (8) 我现在 <u>在</u> 念书 (9) 她现在跟欧阳 <u>在</u> 交往 (10) 我们那口子现在每天 <u>在</u> 吃素食啊 (11) 我经常失恋, 一天到晚都 <u>在</u> 失恋 (12) 我一直都在 <u>听</u> 你们的话 (13) 我跟我的前女友谈了八年的恋爱, 她六年都 <u>在</u> 骗我
①発話時間における〔進行〕。	①発話時間に制限されない〔進行〕。
②出来事地点が一つ。	②出来事地点が複数に及ぶ。
③時間幅を提供する成分が生起していない。	③時間幅を提供する成分が生起している。

表一

図一の要点は以下の三点である。

まず、〔現場進行〕は発話時間においてのみ出来事が〔進行〕していることを表わすが、〔非現場進行〕は、発話時間に制限されない〔進行〕を表わすということが看取しえる。

また、〔現場進行〕の出来事地点は一か所であり、〔非現場進行〕の出来事地点は複数に及ぶということである。

そして、〔現場進行〕は出来事の多発を証明する成分が生起せず、〔非現場進行〕は出来事の多発を証明する“最近”、“現在”、“每天”、“一直”、“一天到晚”、“六年”といった成分が生起するということである。

## 注釈

- 1) 用例を収集する際に視聴したテレビドラマは主として以下の作品である。なお、年代は中国のテレビ、又はインターネットの“优酷网”において放映された時期に従っている。

2005年

《家有儿女》, 《家有儿女2》, 《京华烟云》

2006年

《家有儿女3》

2007年

《家》, 《家有儿女4》, 《四世同堂》, 《岁月》

2008年

《幸福3+2》

2009年

《爱情公寓》

2010年

《和空姐在一起的日子》, 《佳期如梦》, 《郎心如铁》, 《说谎的爱人》, 《温柔的背叛》, 《杨贵妃秘史》, 《蚁族的奋斗》

2011年

《爱情公寓2》, 《家, n次方》, 《裸婚时代》, 《你是我兄弟》, 《闪婚》, 《武则天秘史》, 《夏家三千金》, 《再婚进行时》

2012年

《AA制生活》, 《艾米加油·TV版》, 《爱情公寓3》, 《宝贝妈妈宝贝女》, 《北京爱情故事》, 《北京青年》, 《大男当婚》, 《儿女情更长》, 《浮沉》, 《夫妻那些事》, 《离婚前规则》, 《女人的颜色·TV版》, 《偏偏爱上你》, 《守望的天空》, 《温州一家人》, 《媳妇的美好宣言》, 《西施秘史》

2013年

《天真遇到现实》

- 2) もし“在”構文における持続動詞が既に「終息」してしまうと、複数の同じ出来事を列挙できないので非文となる。龚千炎(1995: 95)では成立しえない“在”構文を挙げている。

(56) \*他在看一眼。 (57) \*他在跑两趟。

- (58) \*他一天在查一次。 (59) \*你在等一会儿。  
 (60) \*他在躺一个晚上。 (61) \*我只在站 10 分钟。

龔千炎はこれらの文について以下のように説明している。

「“在”+動詞の後方には、時間量を示す単語や、動作量を表す単語を伴うことができない。というのは、“在”は動作行為の進行や過程の延長を表わすが、時間量と動作量は過程の〔終息〕を表わす。よって、“在”とこれらの成分は意味上排斥し合うのである。」(龔千炎 1995: 95)

以上の龔千炎による見解から、“在”が時態成分として〔進行〕の意味を表すには後方に生起する動詞が〔終息〕せず〔持続〕を保持しなければならないということが理解できる。

- 3) 論理式における括弧は“( )”、“{ }”、“[ ]”、“【 】”、“《 》”の五つを使用する。そして“( )”が最も作用域(scope)が狭く、“《 》”が最も作用域が広いと仮定する。即ち下記の(a)のように考える。

- (a) ( ) < { } < [ ] < 【 】 < 《 》

この図は、“( )”は“{ }”より作用域が狭く、“{ }”は“[ ]”より作用域が狭く、“[ ]”は“【 】”より作用域が狭く、“【 】”は“《 》”より作用域が狭いことを表している。

- 4) “在”的論理式についての詳述は青木(2013b)、(2013c)を見られたい。  
 5) “你们”は論理的な観点から言うと“唐鹏”と“苏珊”に分けて記述すべきだが、ここでは煩雑になるのを避けて簡略表記した。  
 6) “在”的後方に意味上存在する“那兒”的詳細については青木(2013a)を見られたい。  
 7) ここでの見解は龔千炎(1995: 27)の注釈を参考した。即ち、龔千炎は〔進行〕の意を示す“在”についての論考で、多くの同類の個体が絶えず同じ動作行為や変化が起こっている場合、“在”を用いることができる、といった見解を述べている。  
 8) これは王还編(1997:1037)における“一直”的解釈に基づいている。即ち、「動作行為が一定の時間において連続して進行していることを表わす。或いは情況、状態が一定の時間において変わらず続いていることを表す。」

## 主要参考文献一覧

- 青木萌 2013a. 「現代中国語の統語成分“在”的用法と意味」、『神奈川大学言語研究 2013』。神奈川大学言語研究センター。  
 ——2013b. 「時態成分“在”的時制構造における意味と論理」、『人文研究第 180 集』。神奈川大学

- 人文学会。
- 2013c.「時態成分“在”的生成過程」、『人文研究第181集』。神奈川大学人文学会。
- 2013「副詞“在”が表す二つの進行性」、『連語論研究〈Ⅱ〉』。大東文化大学国際連語論学会。
- 杉村博文 1994.『中国語文法教室』。東京:大修館書店。
- 松村文芳 2011.神奈川大学大学院中国語学特殊研究Ⅲ a 講義。
- 北京大学中文系 1955・1957 級语言班编 1982.『现代汉语虚词例释』。北京:商务印书馆。
- 丁声树等 2009 (1961).『现代汉语语法讲话』。北京:商务印书馆。
- 龚千炎 1995.『汉语的时相时制时态』。北京:商务印书馆。
- 刘月华等 2001.『实用现代汉语语法・增订本』。北京:商务印书馆。
- 卢福波 2010.『汉语语法教学理论与方法』。北京:北京大学出版社。
- 潘文娱乐 1980.「“谈谈“正”“在”和“正在”」、『语言教学与研究』1980年第1期。
- 王还主编 1997.『汉英双解词典』。北京:北京语言大学出版社。
- 袁莉容等 2010.『现代汉语句子的时间语义范畴研究』。四川:四川大学出版社。
- 袁毓林 2012.『汉语句子的焦点结构和语义解释』。北京:商务印书馆。
- 张斌主编 2001.『现代汉语虚词词典』。北京:商务印书馆。
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 2012.『现代汉语词典・第六版』。北京:商务印书馆。
- 朱德熙 1982.『语法讲义』。北京:商务印书馆。
- Chao, Yuanren. 1968. *A Grammar of Spoken Chinese*. University of California Press.